

## 第2章 アンケート調査の結果

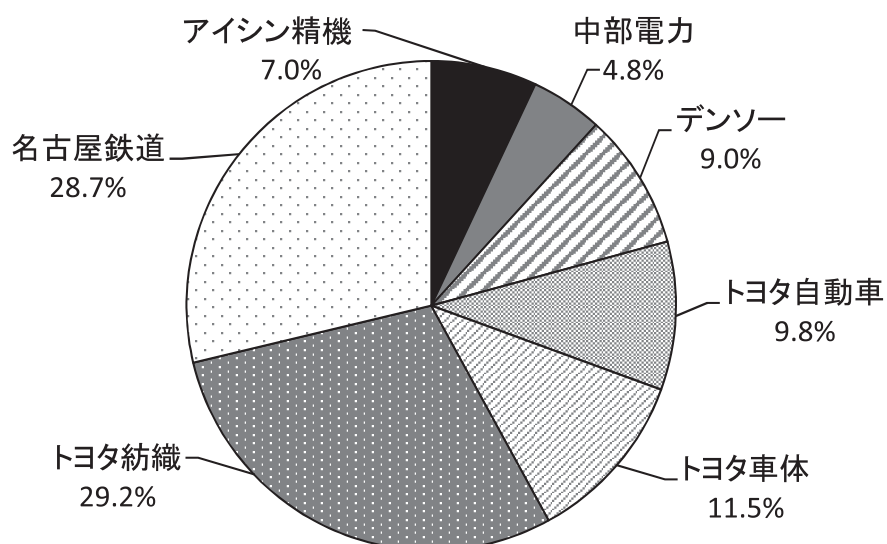
### 1. 回答者の属性

本調査の分析対象は、前述のとおり中部産政研の会員企業のうち、当該調査に参加する企業7社に所属する正社員9523人である。回答者の属性については、以下のとおり。

#### (1) 所属企業

回答者のうち、「トヨタ紡織」が29.2%と最も多く、次いで「名古屋鉄道」（28.7%）、「トヨタ車体」（11.5%）と続く<sup>3</sup>（図表2）。

図表2 回答者の所属企業（n=9523）

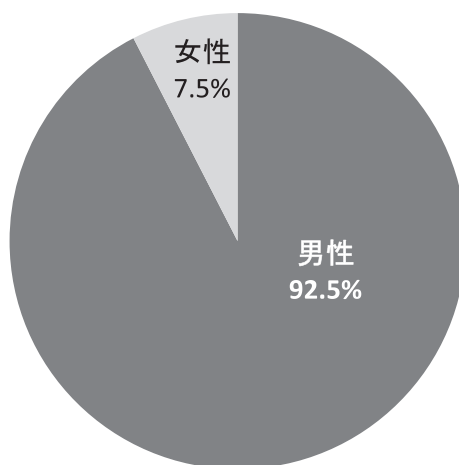


<sup>3</sup> 本分析ではこれらの回答者の所属先の偏りについて加重平均を行わずに分析している。

## (2) 性別

回答者の92.5%が「男性」であり、「女性」は7.5%である(図表3)。なお、本調査の参加企業の女性従業員比率は最も多い企業で約28%、最も少ない企業で約5%（女性従業員比率が未公開の企業もある）である。

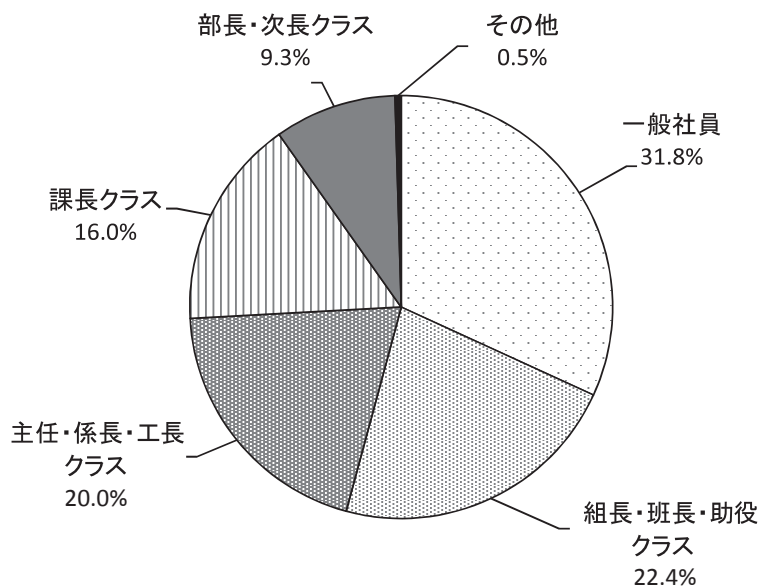
図表3 回答者の性別 (n=9523)



## (3) 役職

「一般社員」が31.8%と最も多く、次いで「組長・班長・助役クラス」が22.4%と続く。非役職者は全体の約3/4を占め、管理職（「課長クラス」と「部長・次長クラス」の合計）は25.3%である（図表4）。

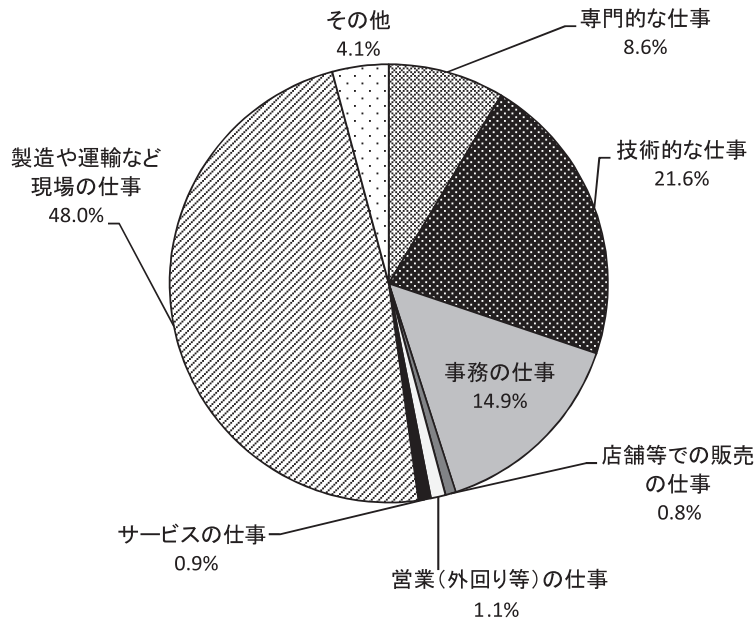
図表4 回答者の役職 (n=9523)



#### (4) 仕事の内容

回答者の48.0%が現業従事者である点は本調査の特徴である。これに次いで「技術的な仕事」(21.6%)、「事務の仕事」(14.9%)、「専門的な仕事」(8.6%)と続く。営業・販売に係る業務の従事者は回答者の2%程度である点も特徴的である(図表5)。

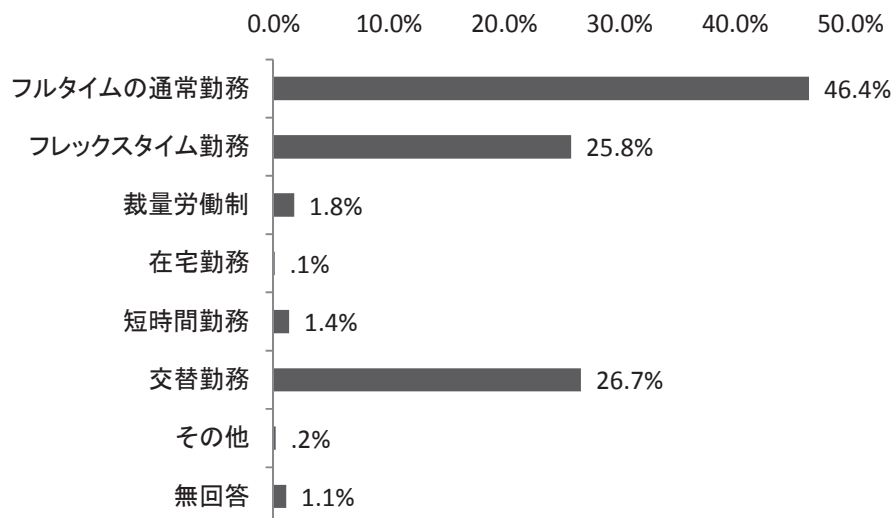
図表5 回答者の仕事の内容 (n=9523)



#### (5) 通常の働き方

「フルタイムの通常勤務」のみは46.4%、「交替勤務」は26.7%である。「フレックスタイム勤務」が25.8%あることから、4人に1人はフルタイム勤務にフレックスタイム制度を併用しているといえる(図表6)。なお、回答者の1週間あたりの平均残業時間は7.5時間である。

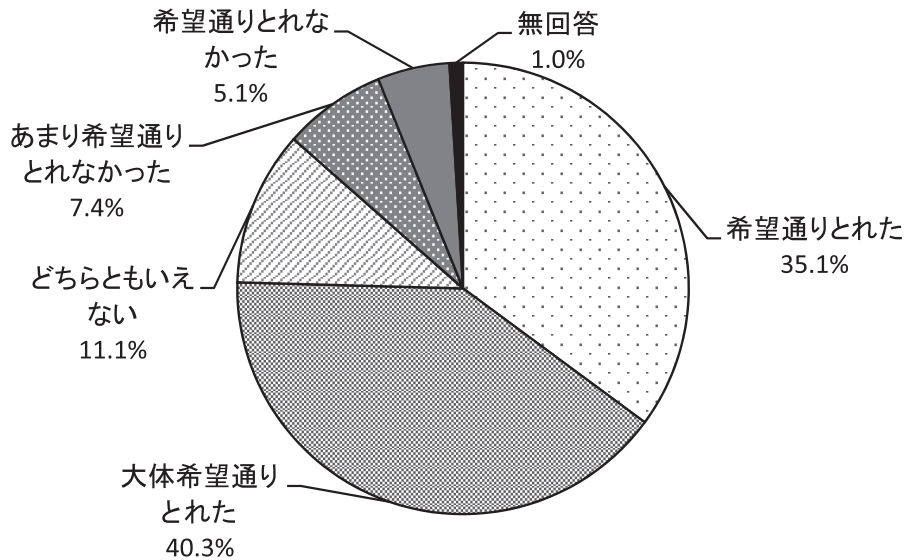
図表6 回答者の通常の勤務形態(複数回答) (n=9523)



(6) 有給休暇の取得状況

「希望通りとれた」が35.1%、「大体希望通り取れた」の40.3%と合わせると75%以上が希望通りに有休をとることができている（図表7）。

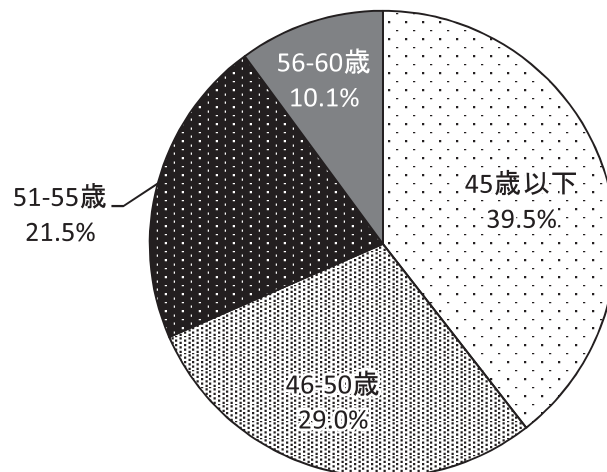
図表7 昨年1年間の年次有給休暇の取得状況（n=9523）



(7) 年齢

本調査の対象は40歳以上の正社員である。「45歳以下」が39.5%で最も多く、次いで「46-50歳」が29.0%となっている（図表8）。なお、平均年齢は47.9歳である。

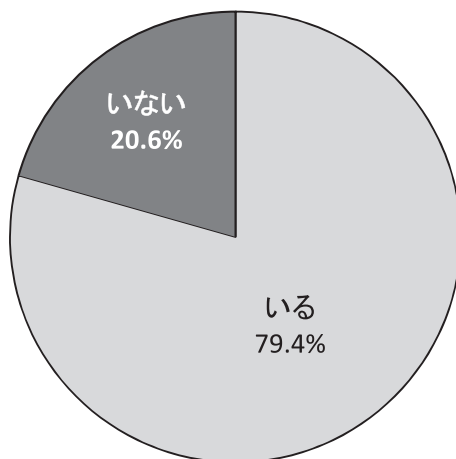
図表8 回答者の年齢（n=9523）



(8) 配偶者や子どもの有無

配偶者が「いる」は79.4%である(図表9)。また、子どもの有無については「いる」が72.5%と全体の3/4を占めている(図表10)。

図表9 回答者の配偶者の有無 (n=9523)



図表10 回答者の子どもの有無 (n=9523)

